

事業所名

児童デイぶらいと 放課後等デイサービス

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

1月

15日

法人（事業所）理念	すべてのお子さまが自分らしく生きられる社会が実現するよう、お子さまの持てる力を引き出しながらできることを増やし、お子さまの将来が「生きること喜びと楽しさを感じられる、自分らしい生活」となることを目指しています。				
支援方針	ぶらいとに安心して楽しく通えるよう活動の中で指導員やお友だちとの関りを大切にし、コミュニケーションの楽しさを感じられるように支援していきます。専門性を活かした、お子さまひとりひとりの発達段階に合わせたオーダーメイドの個別プログラムを立案・実施いたします。				
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	構造化を意識した見てわかる環境を設定し、行動の促しやリズム付けを支援しています。個々の健康状態を保護者様と連携して把握し、成長に伴う運動や生活リズムに合った活動を計画します。健康的な生活を知るための知識、自己管理能力の向上、危険を回避する能力の育成などを目的としたプログラムを取り入れていきます。			
	運動・感覚	個々に合わせた机や椅子を使用して、姿勢を保持しながらの活動できるよう支援します。活動の始めに粗大運動に取り組む時間を作り、机上での微細運動に集中して取り組めるような流れをつくります。様々な課題の中で複数の感覚を刺激しながら生活動作につなげていけるよう工夫します。五感を活かしたアートの創作活動で自己表現できる場をつくり、感性の見える化を促します。			
	認知・行動	タイマーや時計、見通しボードの活用など、個々の発達段階に合わせた視覚支援により行動の定着化につなげていきます。数の概念、文字の読み書きの課題を取り入れ、問題解決能力の育成につなげていきます。ルールのある遊びやソーシャルスキルトレーニングを通して、適切な行動を身に付けられるよう支援をします。社会性の獲得に困難が生じている場合には、個々の状況にあわせて対策を検討していきます。			
	言語 コミュニケーション	音読や言葉遊びなど様々な言葉に触れながら、語彙力、表現力の向上につながるよう支援をします。相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを適切に伝えることができるように、ロールプレイングを用いながら応用的なコミュニケーションスキルの向上を目指します。それぞれの発達段階に合わせた個別のプログラムを提供し、言語能力やコミュニケーションスキルを向上させることを目的として支援をします。			
	人間関係 社会性	他児と関わりを持てるような機会を作り、その場面に応じた適切な行動や言葉かけと一緒に考えたり、自分から表現できるように支援をします。挨拶、自己紹介、断り方など、具体的な場面を想定したロールプレイングを通して、社会生活に必要なスキルを練習します。一人ひとり合った方法でサポートし、安心してコミュニケーションを取れる環境を整え、社会性を育むことができるようなプログラムを提案していきます。			
家族支援	療育の様子をモニターを通して見守ってもらいます。定期的な保護者面談の機会はもちろん、毎回のフィードバックはゆっくり時間をかけて当日の様子を丁寧に伝えるとともに、家庭での様子を聞き取り情報交換をし、保護者の心配事への助言を行います。	移行支援	就学に関する情報提供を行います。学校や関係機関との連携を図ります。		
地域支援・地域連携	お通いの学校、併用されている別事業所との情報交換や共有を積極的に行います。必要に応じて関係機関との連携会議を実施します。	職員の質の向上	オンライン研修や事業所内研修により支援方法の改良をしていきます。通所児童の支援や方法に関する会議は常に行い、情報を共有します。外部研修への参加を奨励します。		
主な行事等	夏まつりやクリスマスなど、季節を感じられる学習としてイベントを行います。休所日にアート療育に関する展覧会などを行います。				